

式 辞

木々の芽吹きが始まり、春の息吹が感じられるようになったこの良き日に、P T A副会長 渡辺由香様、同窓会会長 狩野浩志様をはじめとすご来賓の皆様方、ならびに保護者の皆様にご臨席をいただく中で、群馬県立前橋南高等学校「第47回 卒業証書授与式」を挙行できますことを、大変嬉しく思いますとともに、本校を代表し、心から御礼申し上げます。

只今、卒業証書を授与いたしました194名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんが、入学以来、たゆまぬ努力を積み重ね、多くの困難を乗り越えながらも、無事に今日の日を迎えましたことに、心から祝福の意を込め、賞賛の拍手を送りたいと思います。今日の喜びは、皆さんの努力の結果であることは言うまでもありませんが、それと同時に、日夜を問わず、深い愛情を持って支えてくださったご家族と、周囲の方々の温かい励ましの賜物であることを忘れず、お世話になった方々へ、感謝の気持ちを伝えてもらいたいと思います。

卒業生の皆さん、前南での3年間は、濃密な時間だったことでしょう。入学当初は、新型コロナウイルス感染症による、様々な制約が課される中、学校生活に不安もあったかもしれません。しかし、日々の授業に真剣に取り組み、仲間や先輩と過ごし、自己の目標を確立していく中で、学校生活を自分のものとする事ができたことと思います。本日この式場に入場する凜とした、その姿が証明してくれていました。校訓である「独立自尊」、「進取果敢」、「下学上達」を成し遂げた姿だと感じました。

卒業生の皆さんの様々な分野での活躍には、素晴らしいものがありました。部活動や学業などいろいろな場面で、皆さんの持つ、総合力の高さを目にすることがありました。ひとり一人が、自己の目標に向かって取り組み、互いに努力しつづけることで、なし得たことだと考えています。もちろん、目に見える結果を得られなかった場合も、あったかもしれません。しかし、互いに切磋琢磨する多くの仲間がいる、そんな場所で目標に向かって取り組んできたこと自体に、大きな価値があると考えています。この前橋南高校で過ごした時間と経験に自信をもってもらいたいと思います。

さて、これから社会への一步を踏み出していく皆さんに二つのアドバイスをしたいと思います。一つ目は「対話」を大切にしてほしいということです。本校で皆さんは、二学年の時よりSAHとして「自ら考え、判断し、行動する」ことをめざし、様々な活動に取り組んできました。皆さんが行った「身だしなみルールの作成」、「野球部の応援企画」、「アイスクリームの自動販売機の設置」、「有志のスキー教室」などは現在、群馬県のSAHを考える上での代表的な企

画となっています。おそらく、皆さんはこれらの活動を行っていく中で、「自分一人では達成できないことがたくさんある」ということに気づいたのではないかと考えています。物事を成し遂げようと思ったときには、決して個人の思い込みだけでは成し遂げることはできません。色々な人から情報をもらい、その情報を仲間と吟味し、お互いの意見をすりあわせ、多くの人々が納得する結論を導いていかなければなりません。このときに必要となるのが対話です。相手の意見にしっかりと耳を傾け、自分の意見や、思いを正確に、適切な言葉で伝え、理解し合うことで、初めて物事を成し遂げることができます。どうか、「対話」を大切にしてほしいと思います。

二つ目は「思いやりの心」を忘れないでほしいということです。インターネットの発達により私たちは、様々な情報を簡単に手に入れ、色々な人と色々な方法で繋がることができるようになりました。この技術はとても便利なものですが、時に、繋がっている先に「人」がいることを忘れてしまうことが起きてしまいます。AI技術の進歩により今後、この傾向は増えていく可能性もあります。しかし、どんなに技術が進歩しようとも繋がりの中には必ず人がいます。例えば相手が見えなくても、その相手を尊重し、思いやる気持ちを持たなければ社会生活を送っていくことは難しくなります。どんな社会になっても「思いやりの心」を忘れずに過ごして欲しいと思います。

結びになりますが、本日、ご列席いただきました保護者の皆様には、三年間にわたり、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。慈しみ大切に育ててこられたお子様の立派に成長されました姿に、感慨もひとしおのこととご推察申し上げます。3年間の高校生活を経て、お子様は心身ともに真っ直ぐに成長されました。今後も、お子様の輝ける未来を見守り、時には励まし、これからも支えていただきますようお願い申し上げます。

本日、ご列席いただきました皆様には、三年間にわたり、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。また、ご多用の中をご臨席を賜りましたご来賓の皆様には、本校へのご支援ご協力に改めて感謝申し上げます。

本日ここに、卒業生を送り出します本校の教職員を代表して、卒業生の皆さんの今後の大いなる活躍を祈念し、卒業式の式辞といたします。

令和七年三月三日

群馬県立前橋南高等学校長 原 拓史